

令和2年度	教科	科目	単位数	年次	必修/選択	科目担当者
	芸術	音楽 I	2	1	必修	青野 貴文
使用教科書			副教材等			
「高校音楽 I 改訂版 Music View (教育出版)」			Music Navigation			

【 科目のねらい 】

- (1) 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てる。
- (2) 音楽の幅広い活動を通して、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を育てる。
- (3) 音楽の幅広い活動を通して、豊かな感性と情操を育てる。
- (4) 音楽の幅広い活動を通して、音楽文化を尊重する態度を育てる。

【 観点別の到達目標 (期待される学習効果) 】

学習の到達目標	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
	授業に対して積極的、主体的に取り組み、音楽文化に対する関心を高めようとする姿勢を身に付けることができる。	曲にふさわしい表現を工夫し、発表できるようになる。 音楽の仕組みや歴史を理解することによって、知識を活用した音楽表現を行うことができる。	楽譜を読む力 (音楽に関する基礎的な知識等) を高めることができる。 基本的な演奏技能を向上させ演奏することができる。	楽器の音色の違いが聴取できるか 楽曲に関する作品背景や歴史的・民族的・社会的意味について根拠を持ち批評することができる。

【 評価 】

評価の観点	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法的な	(1) ペーパーテスト (2) 実技への取り組み (3) ワークシート (4) 自己評価シート	(1) ペーパーテスト (2) 実技の完成度 (3) ワークシート	(1) ペーパーテスト (2) 実技の完成度 (3) ワークシート	(1) ワークシート
割合	25%	25%	25%	25%

【 学習の方法 】

授業の進め方	(1) リズムテストを実施する。 (2) ペーパーテストを実施する。 (3) 実技テストを実施する。
学習上の留意点	(1) 実技課題等への練習は真剣に行うこと。 (2) 表現活動の場のため、歌唱や器楽において発表する際は、恥ずかしがらず堂々と行うこと。
家庭学習	(予習) 使用する楽譜には必ず音名を記すこと。また、授業内で練習が足りない場合は昼休み等フル活用すること。 (復習) 授業内で練習が足りない場合は、時間をフル活用し、発表に向けて準備すること
備考	実技発表では人前で何かを発表する難しさ、また、様々な音楽を知ることによって音楽を通して豊かな心を育みます。 そのためにも、実技練習やグループ発表では真剣に取り組んでください。

【 年間計画 】

月	単元	学習内容	学習のねらい	時数	評価の観点				特実 数値			
					①	②	③	④				
4	前期 中間	「鑑賞」	授業日に関係ある音楽の出来事について触れ鑑賞をする。	様々な音楽を鑑賞し、自分にとっての楽曲や演奏の価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴き自分の言葉で表現することができる。	1	○			○			
		リズム	リズム打ち視唱 (小テストあり)	音符の長さを正しく把握し、リズムを歌うことができ楽譜になれることができる。	1	○			○			
		オリエンテーション		高校生として音楽を学ぶにあたって、音楽を様々な視点から捉えることについて考えることができる。	1	○						
		歌唱	校歌	歌詞の内容や楽曲の背景などかかわらせて、イメージをもって歌い、表現を工夫することができる。	3	○	○					
			小テスト①		3	○						
		楽典	音符・休符	音符について理解することができる 休符について理解することができる。	4	○	○	○				
	小テスト②			4	○							
	器楽	Cups !	仲間と協力して音楽を作り上げることができる。 リズムに親しむことができる。	8	○	○	○	○				
		実技テスト①		8	○	○	○	○				
	9 10	前期 期末	歌唱	合唱「大切なもの」	季節の雰囲気合わせた歌を、二部合唱等で楽しみながら、声が響きあう楽しさを感じ音楽学習への意欲を養うことができる。	6	○	○	○	○		
			器楽	アルトリコーダー	リコーダーの構造、名称について理解することができる。 運指について理解することができる。	7	○		○			
				小テスト③、実技テスト②	名称テスト。音階、練習曲を弾くことができる。	7	○	○	○			
課題曲取り組み				8小節程度の旋律を弾くことができる。	7	○	○	○				
実技テスト③				課題曲発表	7	○	○	○				
音楽史			西洋音楽史	西洋の音楽の歴史について理解することができる。 五線について理解することができる。	2	○	○					
		楽典	五線、音部記号、音名	音部記号について理解することができる。 音名について、理解することができる。	3	○	○					
鑑賞			日本の伝統音楽	日本の響きについて理解することができる。	3	○	○		○			
		世界の諸民族音楽	各国の諸民族音楽について理解することができる。	3	○	○		○				
前期期末考査					1	○	○	○				
11	後期 中間	器楽	アルトリコーダー (アンサンブル①)	課題曲に取り組み発表の準備をすることができる。	6	○		○				
			実技テスト④		6	○	○	○				
			アルトリコーダー (アンサンブル②)	課題曲に取り組み発表の準備をすることができる。	6	○		○				
		楽典	実技テスト⑤	実技発表曲について楽器の音色、リズム、速度、 強弱記号・反復記号	4	○	○	○				
			小テスト⑤	反復記号の使い方、意味について理解することができる。	4	○	○					
			西洋音楽史	西洋の音楽の歴史について理解することができる。	4	○						
	後期 期末	音楽史	小テスト⑤		4	○						
			歌唱	ボイスアンサンブル	声部の役割を理解し、楽器の音色や奏法の特徴を生かしながら、全体の響きに気をつけて歌唱し、各グループで工夫することができる。	6	○	○		○		
		鑑賞	舞台芸術について	歴史的・文化的背景に関心を持ち、そのよさや価値について理解することができる。	4	○			○			
			後期期末考査					1	○	○	○	
			実技テスト⑥ (グループ発表)		1	○	○	○		○		
		3										

令和2年度	教科	科目	単位数	年次	必修/選択	科目担当者
	芸術	音楽Ⅱ	2	2	必修	青野 貴文
使用教科書			副教材等			
「高校音楽Ⅱ改訂版 Music View (教育出版)」			Music Navigation			

【 科目のねらい 】

- (1) 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てる。
- (2) 音楽の幅広い活動を通して、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を育てる。
- (3) 音楽の幅広い活動を通して、豊かな感性と情操を育てる。
- (4) 音楽の幅広い活動を通して、音楽文化を尊重する態度を育てる。

【 観点別の到達目標 (期待される学習効果) 】

学習の到達目標	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
	授業に対して積極的、主体的に取り組み、音楽文化に対する関心を高めようとする姿勢を身に付けることができる。	音楽Ⅰでの学習をもとに曲にふさわしい表現を工夫し、発表することができる。 音楽の仕組みや歴史を理解をより深め、これまでの知識を活用した音楽表現を行うことができる。	楽譜を読む力をさらに高めることができる。演奏技能をより向上させ、演奏することができる。 仲間とともに音楽を作り上げることができる。	楽器の音色の違いが聴取できるか 楽曲に関する作品背景や歴史的・民族的・社会的意味について根拠を持ち批評することができる。

【 評価 】

評価の観点	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価的方法	(1) ペーパーテスト (2) 実技への取り組み (3) ワークシート (4) 自己評価シート	(1) ペーパーテスト (2) 実技の完成度 (3) ワークシート	(1) ペーパーテスト (2) 実技の完成度 (3) ワークシート	(1) ワークシート
割合	25%	25%	25%	25%

【 学習の方法 】

授業の進め方	(1) リズムテストを実施する。 (2) ペーパーテストを実施する。 (3) 実技テストを実施する。
学習上の留意点	(1) 実技課題等への練習は真剣に行うこと。 (2) 表現活動の場のため、歌唱や器楽において発表する際は、恥ずかしがらず堂々と行うこと。
家庭学習	(予習) 使用する楽譜には必ず音名を記すこと。また、授業内で練習が足りない場合は昼休み等フル活用すること。 (復習) 授業内で練習が足りない場合は、時間を昼休み等フル活用し、発表に向けて準備すること
備考	実技発表では人前で何かを発表する難しさ、また、様々な音楽を知ることによって音楽を通して豊かな心を育みます。 そのためにも、実技練習やグループ発表では真剣に取り組んでください。

【 年間計画 】

月	考 査 範 疇	単元	学習内容	学習のねらい	時 数	評価の観点				実 施 時	
						①	②	③	④		
4	前 期 中 間	鑑賞	授業日に関係ある音楽の出来事について触れ鑑賞をする。	様々な音楽を鑑賞し、自分にとっての楽曲や演奏の価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴き自分の言葉で表現することができる。	1	○			○		
		リズム	リズム打ち視唱 (小テストあり)	音符の長さを正しく把握し、リズムを歌うことができ楽譜になれることができる。	1	○		○			
		オリエンテーション		高校2年生として音楽を学ぶにあたって、音楽を様々な視点から捉えることについて考えることができる。		○					
		歌唱	合唱[さくら]	季節の雰囲気に合わせて歌を、三部合唱等で楽しみながら、声が響きあう楽しさを感じ音楽学習への意欲を養う。	5	○	○	○			
		楽典	音名・拍子 小テスト①	音名について復習するとともに、楽譜上での使い方について理解する。 楽典の小テストを実施する。	3	○		○			
	器楽	Cups ! 実技テスト①	仲間と協力して音楽を作り上げることができる。 リズムに親しむことができる。	4	○	○	○	○			
	9	前 期 期 末	器楽	ギター	ギターの構造、名称について理解することができる。 フレットについて理解することができる。 右手、左手の使い方、音階、練習曲を弾くことができる。	6	○		○		
				小テスト②、実技テスト①		○	○				
				ギター	8小節程度の旋律を弾くことができる。	6	○	○			
			実技テスト②	課題曲に取り組み発表の準備をすることができる。	6	○	○				
実技テスト③				○	○						
楽典		音程 小テスト	「度」について理解することができる 長音階について理解することができる。 短音階について理解することができる。	7	○		○				
音楽史		日本音楽について①	日本音楽について知識・理解を深める。	2	○			○			
鑑賞		舞台芸術について①	歴史的・文化的背景に関心を持ち、そのよさや価値について理解することができる。	2	○			○			
前期期末考査					1	○	○	○			
10		後 期 中 間	楽典	和音	3和音について理解することができる。 和音の種類について理解することができる。 7の和音について理解することができる。 コードネームについて理解することができる。	6	○		○		
	小テスト④				○	○	○				
	器楽		ギター	コードについて理解し押さえることができる。 4つのコードについて理解し演奏することができる。	8	○		○			
			実技テスト④	課題曲に取り組み発表することができる	○	○	○				
	音楽史 器楽		日本音楽史② 小テスト⑤	日本音楽について知識・理解を深める。	3	○	○				
	音楽史	世界の楽器について	様々な楽器について知識・理解を深めることができる。	2	○			○			
	鑑賞	舞台芸術について②	歴史的・文化的背景に関心を持ち、そのよさや価値について理解することができる。	3	○			○			
	器楽・歌唱	グループで工夫して自分たちのアンサンブルを作る	声部の役割を理解し、楽器の音色や奏法の特徴を生かしながら、全体の響きに気をつけて合奏し、各グループで工夫する。	8	○	○	○				
	後期期末考査					1	○	○	○		
	実技テスト⑤ (グループ発表)					2	○	○	○		
3											

令和2年度	教科	科目	単位数	年次	必修/選択	科目担当者
	芸術	演奏に親しむ	2	3	選択	青野 貴文
使用教科書			副教材等			
なし			プリントを用意します。			

【 科目のねらい 】

- (1) 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てる。
- (2) 音楽の幅広い活動を通して、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を育てる。
- (3) 音楽の幅広い活動を通して、豊かな感性と情操を育てる。
- (4) 音楽の幅広い活動を通して、音楽文化を尊重する態度を育てる。

【 観点別の到達目標（期待される学習効果） 】

学習の到達目標	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
	授業に対して積極的、主体的に取り組み、音楽文化に対する関心を高めようとする姿勢を身に付けることができる。	曲にふさわしい表現を工夫し、発表できるようになる。 音楽の仕組みや歴史を理解することによって、知識を活用した音楽表現を行うことができる。	楽譜を読む力（音楽に関する基礎的な知識等）を高めることができる。 基本的な演奏技能を向上させ演奏することができる。	楽器の音色の違いが聴取できる。 楽曲に関する作品背景や歴史的・民族的・社会的意味について根拠を持ち批評することができる。

【 評価 】

評価の観点	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価的方法	(1) 実技への取り組み (2) ワークシート (3) 自己評価シート	(1) 実技の完成度 (2) ワークシート	(1) 実技の完成度 (2) ワークシート	(1) ワークシート
割合	25%	25%	25%	25%

【 学習の方法 】

授業の進め方	(1) 実技テストを実施する。
学習上の留意点	(1) 実技課題等への練習は真剣に行うこと。 (2) 表現活動の場のため、歌唱や器楽において発表する際は、恥ずかしがらず堂々と行うこと。
家庭学習	(予習) 使用する楽譜には必ず音名を記すこと。また、授業内で練習が足りない場合は昼休み等フル活用すること。 (復習) 授業ないで練習が足りない場合は、時間をフル活用し、発表に向けて準備すること
備考	プロの音楽家を育成する訳ではありません。実技発表では人前で何かを発表する難しさ、また、様々な音楽を知ることによって音楽を通して豊かな心を育みます。 そのためにも、実技練習やグループ発表では真剣に取り組んでください。

【 年間計画 】

月	考 査 範 疇	単元	学習内容	学習のねらい	時 数	評価の観点				実 施 時
						①	②	③	④	
4	前 期 中 間	オリエンテーション			1					
		器楽 (ピアノ)	バイエル第1巻 (1～30) 課題曲	右手で演奏することができる。	○		○			
				左手で演奏することができる。	○		○			
				両手で弾くことができる。	○		○			
				課題曲に取り組むことができる。	○	○				
			仲間の演奏を聞き根拠を持ち批評することができる。	○			○			
	実技試験(課題曲)					1	○	○		
	前 期 期 末	器楽 (歌唱)	童謡弾き歌い 課題曲	両手で弾くことができる。	○		○			
				弾きながら歌うことができる。	○		○			
				課題曲に取り組むことができる。	○	○				
仲間の演奏を聞き根拠を持ち批評することができる。				○			○			
実技試験(課題曲)					1	○	○			
後 期 中 間	器楽 (ピアノ)	バイエル第1巻 (31～45) 課題曲	両手で弾くことができる。	○		○				
			課題曲に取り組むことができる。	○	○					
			仲間の演奏を聞き根拠を持ち批評することができる。	○			○			
			実技試験(課題曲)					1	○	○
	後 期 期 末	トーンチャイム	クリスマスコンサートへ向けて	トーンチャイムの奏法を理解することができる。	○		○			
トーンチャイムの響きに親しむことができる。				○	○					
仲間と協力して音楽を作ることができる。				○	○					
実技発表					1	○	○			
1		器楽 (ピアノ)	バイエル第1巻 (45～60) 課題曲	両手で弾くことができる。	○		○			
	課題曲に取り組むことができる。			○	○					
	仲間の演奏を聞き根拠を持ち批評することができる。			○			○			
	実技試験(課題曲)					1	○	○		